

請求の範囲

- [請求項1] 第1の音声解析端末と、第2の音声解析端末とを含む音声解析システムであって、
- 第1の音声解析端末は、
- 会話に含まれる単語を解析し、第1の会話情報を得る第1の用語解析部と、
- 第1の用語解析部が解析した第1の会話情報を記憶する第1の会話記憶部と、
- 第1の会話記憶部が記憶した第1の会話情報を解析する解析部と、
- 複数のプレゼンテーション資料を記憶するプレゼンテーション記憶部と、
- 前記プレゼンテーション記憶部に記憶されたそれぞれのプレゼンテーション資料に関連した関連語を記憶する関連語記憶部と、
- 前記プレゼンテーション記憶部が記憶したいずれかのプレゼンテーション資料を表示する表示部と、を含む端末であり、
- 第2の音声解析端末は、
- 前記会話に含まれる単語を解析し、第2の会話情報を得る第2の用語解析部と、
- 第2の用語解析部が解析した第2の会話情報を記憶する第2の会話記憶部と、
- を含む端末であり、
- 第1の音声解析端末は、
- 第2の音声解析端末から第2の会話情報を受信する会話情報受信部をさらに有し、
- 第1の会話記録部は、前記会話情報受信部が受信した第2の会話情報も記憶し、
- 前記解析部は、
- 前記複数のプレゼンテーション資料のうちのあるプレゼンテーシ

ョン資料である特定プレゼンテーション資料が選択されたことに関する情報を受け取る特定プレゼンテーション情報取得部と、

第1の会話情報における会話区分を分析し、1又は複数の会話区分を得る会話区分取得部と、

第1の会話情報及び第2の会話情報に含まれる前記特定プレゼンテーション資料に関する前記関連語を抽出する関連語抽出部と、

前記会話区分取得部が得た各会話区分における第1の会話情報に含まれる関連語の数と、第2の会話情報に含まれる関連語の数とを比較し、関連語の数が多い方の会話区分を正しい会話区分として採用する会話区分選択部と、

を含む、音声解析システム。

[請求項2]

請求項1に記載の音声解析システムであって、

第1の音声解析端末は、時刻時間を記憶するための時刻記憶部をさらに有し、

第1の会話情報は、前記会話に含まれる単語とともに、各単語と関連した時刻を含み、

前記会話区分取得部は、各単語の時刻情報を用いて、会話区分を分析するシステム。

[請求項3]

請求項1に記載の音声解析システムであって、

第1の音声解析端末は、会話に含まれる音声の周波数を解析する周波数解析部をさらに有し、

第1の会話情報は、前記会話に含まれる単語とともに、各単語と関連した音声の周波数を含み、

前記会話区分取得部は、各単語の周波数を用いて、会話区分を分析するシステム。

[請求項4]

請求項1に記載の音声解析システムであって、

前記関連語記憶部が記憶する関連語は、プレゼンター用関連語と、リスナー用関連語とを含み、

前記会話区分取得部は、前記会話情報に含まれる前記プレゼンター用関連語と、前記リスナー用関連語とを用いて、前記会話区分を分析する、
システム。

[請求項5] 請求項1に記載の音声解析システムであって、
第1の音声解析端末は、
前記複数のプレゼンテーション資料のそれぞれに関連した誤変換用語を記憶した誤変換用語記憶部をさらに有し、
前記解析部は、特定プレゼンテーション資料に関する誤変換用語が含まれる場合、
前記各会話区分のうち前記正しい会話区分として採用されなかった会話区分に含まれる用語のうち、前記正しい会話区分に含まれる前記誤変換用語に対応する用語を用いて、前記正しい会話区分に含まれる用語を修正する、システム。

[請求項6] 請求項1に記載の音声解析システムであって、
第2の音声解析端末は、
第2の会話記憶部が記憶した第2の会話情報を解析する第2の解析部と、
第2の音声解析端末に記憶される複数のプレゼンテーション資料である第2のプレゼンテーションを記憶する第2のプレゼンテーション記憶部と、
第2のプレゼンテーション資料のそれぞれに関連した関連語を記憶する第2の関連語記憶部と、
第2のプレゼンテーション記憶部が記憶したいずれかのプレゼンテーション資料を表示する第2の表示部と、
第1の音声解析端末から第1の会話情報を受信する第2の会話情報受信部をさらに有し、
第2の会話記録部は、第2の会話情報受信部が受信した第1の会

話情報も記憶し、

第2の解析部は、

第2のプレゼンテーションのうちのあるプレゼンテーション資料である第2の特定プレゼンテーション資料が選択されたことに関する情報を受け取る第2の特定プレゼンテーション情報取得部と、

第2の会話情報における会話区分を分析し、1又は複数の会話区分を得る第2の会話区分取得部と、

第1の会話情報及び第2の会話情報に含まれる第2の特定プレゼンテーション資料に関する関連語を抽出する第2の関連語抽出部と、

第2の会話区分取得部が得た各会話区分における第1の会話情報に含まれる関連語の数と、第2の会話情報に含まれる関連語の数とを比較し、関連語の数が多い方の会話区分を正しい会話区分として採用する第2の会話区分選択部と、

を含む、音声解析システム。